

# 「固定電話」の今後について

## 概要

- 固定電話のコアネットワークをPSTN\*からIP網に移行するにあたって、現行のIP網では提供していない機能・サービスの扱い等について、以下の観点で踏まえて、2010年11月に『PSTNのマイグレーションについて～概括的展望～』を公表しました。

### <概括的展望の要旨>

- IP系サービスへの需要のシフトおよびPSTN交換機の寿命等を勘案し、2020年頃から、PSTNからIP網への移行を開始し、2025年1月までの完了を想定。
  - PSTNからIP網への移行にあたり、一部提供を終了するサービスがある。2010年11月においてその内容を公表し、お客さまへの十分な周知期間を取ったうえで、お客さま対応を実施。
  - 現在PSTN交換機を介して接続しているIP電話のIP網同士の接続の実現等に向け、多数の関係事業者間で意識合わせを行うことを提案。
- また、2015年11月に固定電話を維持するための見直しとして、『「固定電話」の今後について』を公表しました。

### <公表要旨>

- 現在ご利用いただいている「固定電話」を逐次IP網へ移行することにより維持
  - ・基本的な音声サービスはご利用可能  
(基本的な通話に加え、ISDNの通話モード、キャッチホン、ナンバーディスプレイ、公衆電話等)
  - ・お客さま宅での工事は不要で電話機等はそのままご利用可能
  - ・基本料は可能な限り現状と同等の水準を維持(既存のメタルケーブルを継続利用)
  - ・通話料は距離に依存しないIP網の特性を活かし、よりわかりやすい料金へ(ひかり電話と同様に全国一律のフラットな料金へ)
  - ・2025年頃に中継/信号交換機が維持限界を迎える中、IP網への移行時期については、関係事業者との対応を踏まえて別途公表
- その上で、音声通信市場が縮小していく中、IP網へ移行後も引き続き固定電話をご利用されるお客さまのために、いかにそれを維持していくかという点を考慮し、IP網の特性を活かし、できる限りお客さまにご負担をおかけしないよう、最小限の追加コストで「2024年以降の固定電話」を提供していく必要があるとの考えの下、料金・提供条件、IP網への具体的な移行工程・スケジュール、移行に伴い終了予定のサービス・機能の扱い等について、現時点の考えを表明しました。
- 「2024年以降の固定電話」(IP網への移行後の固定電話)の提供条件などについては、2022年1月に公表しました。
- 2024年以降の固定電話の提供条件に加え、IP網への移行スケジュールを2022年12月に公表しました。

\*PSTN [公衆電話交換機: Public Switched Telephone Network]

## 2024年以降の固定電話の料金・提供条件(基本料)

- IP網への移行後も、既存のメタルケーブルを継続利用する考えであり、市場環境が著しく変化しない限り、基本料は、現在の加入電話・INSネットの基本料と同額とする考え。  
(級局別/事住別の料金体系は維持)

現状				IP網への移行後			
				(月額)			
		事務用	住宅用			事務用	住宅用
加入電話*	3級局	2,750円	1,870円	加入電話相当	3級局	現状と同額	
	2級局	2,585円	1,705円				
	1級局	2,530円	1,595円				
INSネット64		3,883円	3,058円	INSネット64相当			

\*ダイヤル回線用の場合

## 2024年以降の固定電話の料金・提供条件(通話料)

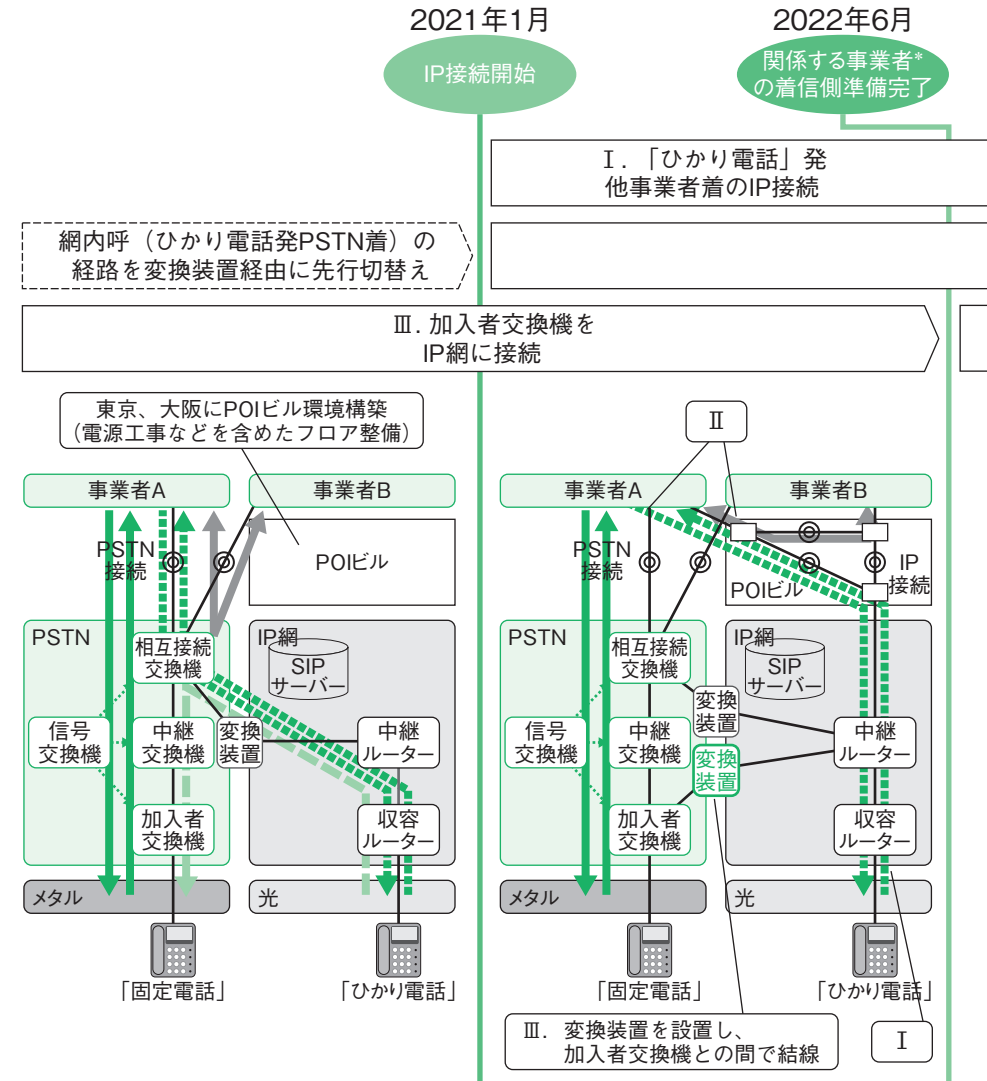
- 通話料は、距離に依存しないIP網の特性\*を活かし、全国一律3分9.35円とする考え。
  - 国際通話は、ひかり電話と同様にNTT東日本が提供(国内通話を含め、「00XY」をダイヤルする事業者選択は引き続き可能)。
- \*IPルーター等で構成。距離にほとんど依存しないフラットなネットワーク構成。

現状		IP網への移行後	
		通話料	
距離段階	通話料* <>は3分間通話した場合の料金		
区域内	9.35円/3分<9.35円>	全国一律 9.35円/3分	
隣接・~20kmまで	11円/90秒<22円>		
20kmを超え60kmまで	11円/60秒<33円>		
60kmを超え	11円/45秒<44円>		
県間通話	提供していない	提供 (ひかり電話と同等、料金は対地別)	
国際通話	提供していない		

\*平日昼間の場合

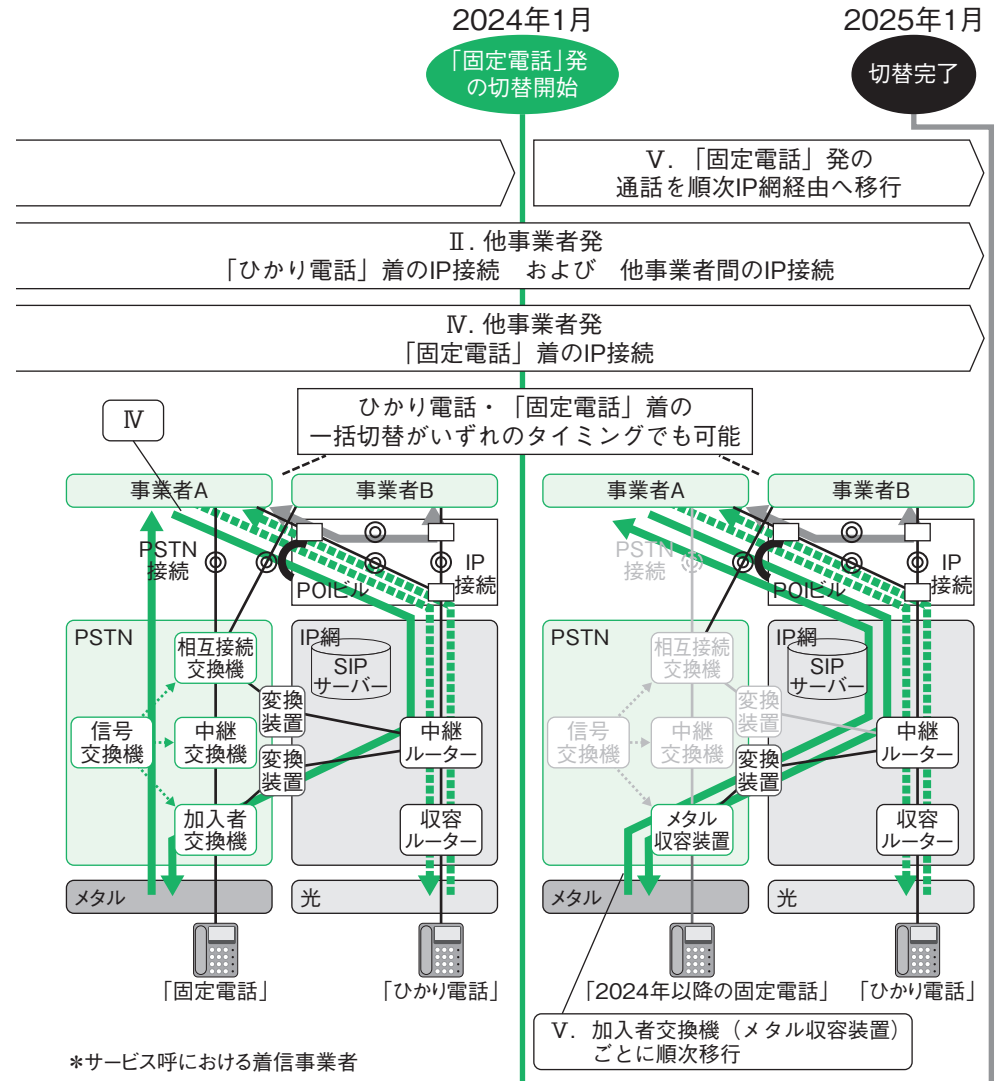
# PSTNからIP網への移行スケジュールについて

- 2025年頃にPSTNの信号交換機、相互接続交換機、中継交換機が寿命を迎えることから、2021年1月よりIP接続を開始。
- 「固定電話」発信の通話のIP網経由への切替（下図、工程V）は、確実に2025年1月までに切替完了させるため、1年前の2024年1月1日より地域ごと、呼種ごとに段階的に移行を開始。
- 工程Vの開始時、加入電話・INSネットについて、2024年1月1日より、新たな料金を



適用。

- 現在の加入者交換機は、お客さまを収容しながらIP網への収容装置として継続利用。
  - NTT網と他事業者との接続については、現在の相互接続交換機を介した接続から、IP網同士の直接接続へ移行。
- 移行にあたっては、当該事業者と連携することにより、お客さまにご迷惑をおかけしないよう実施。



## IP網への移行におけるサービスの扱い

- PSTNで提供している基本的なサービスについては、IP網への移行後においても、IP網で提供を継続していく考えです。
- IP網での提供が困難なサービスやお客様の利用の減少が見込まれるサービスについては、提供を終了します(2024年1月1日より利用できなくなります)。必要に応じて、代替サービスの提案を行うとともに、責任を持ってお客様対応を実施していきます。
- その際、お客様の端末交換やシステム更改が必要となる場合がありますが、極力お客様の負担増にならないように、お客様の端末の更改時期に合わせて取替えていただけるよう、十分な期間をとって対応していきたいと考えています。

提供を継続するサービス	基本的な音声サービスのほか、INS ネット（音声通話のみ）、公衆電話、110（警察）、118（海上保安）、119（消防）、117（時報）、177（天気予報）、104（番号案内）、115（電報）、ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・リクエスト、迷惑電話おことわりサービス、キャッチホン、ボイスワープ、ボイスワープセレクト、フリーアクセス、#ダイヤル、代表、ダイヤルイン、ピンク電話 等
提供終了するサービス	INS ネット（デジタル通信モード）、ビル電話、着信用電話、支店代行電話、有線放送電話接続電話、短縮ダイヤル、キャッチホン・ディスプレイ、ナンバー・アナウンス、でんわばん、トーキー案内、発着信専用、ノーリング通信 等

- 通話料をシンプルでフラットな料金体系とすることに伴い、現状の通料金割引サービスすべて提供を終了いたします（2024年1月1日より割引を適用いたしません）。
- 「マイライン／マイラインプラス」「INSネット（デジタル通信モード）」については、2024年1月1日以降、IP網への移行に合わせて終了した後、それぞれ「新しい通話サービス」「切替後のINSネット上のデータ通信サービス（補完策）」へ移行いたします。